

建築人

2024

1

Osaka Association of Architects & Building Engineers
Newsletter "Kenchiku-Jin" No.715





建築人

2024.01 No.715

Osaka Association of Architects & Building Engineers
Newsletter "Kenchiku-Jin"

2024年(令和6年)年頭所感

公益社団法人 大阪府建築士会
会長 岡本森廣



新年 明けましておめでとうございます。

本会は1952年の創立から70年を超えて活動を拡充し、2013年の公益社団法人への移行からも10年を経て、建築士の技術進歩や業務改善に係る普及活動はもとより、近年多発している大規模自然災害に対する応急危険度判定活動等による市民財産の保護など益々社会貢献活動を充実させ、それらに携わる会員建築士の育成とスキルアップを図っております。

また、少子高齢化の社会情勢を背景にして、会員の維持と増強をはじめ、各種事業の運営や事務局運営にもIT化を促進して、組織のスリム化と合理化を図り、役員・委員・事務局一同ともに協議を重ねて健全財政を保持するべく努めております。

2025年の大阪・関西万博と同年には、建築士会全国大会「大阪大会」を誘致し、建築から社会を俯瞰し共創するコンセプトをもつ本会常時のキャッチコピーである『建築からソーシャルデザインへ』を大会テーマとして掲げ、本年から本格的な準備段階に移行して、全国の建築士会の中でも大阪が特筆される活性化を図ってまいります。

本会の基幹は、公益法人としての公益目的事業による建築士の育成と社会貢献活動で両立しており、より広く市民の方々にも団体の存在をアピールし、国際的視野も含めて建築士会の認知度を高め、建築界全体の奮起に繋げてまいります。

会員の皆様には、更なる本会活動の推進にご理解とご支援をお願い申し上げます。

大阪こちエエ

写真 田籠哲也 文 牧野隆義

2025年に開催される大阪・関西万博の報道が多くなってきた。良くも悪くも脚光を浴びているこの会場となる夢洲を、今回はお伝えしたい。

大阪のベイエリアに位置する夢洲は、大阪市の最西端にあり、市内で発生した建設土砂等を利用してつくられた約390haの人工島だ。

大阪市は、1998年に跡地利用として人工島3地区の湾岸開発を進める為、「テクノポート大阪計画」を発表したがバブル崩壊と共に計画は頓挫をした。その後、2008年の夏季オリンピック誘致に名乗り出たが、北京に敗れ、計画は白紙撤回となった。

しかし、2002年には夢舞大橋が開通し、夢洲コンテナ埠頭の供用が開始。そして2016年には、万国博覧会の大阪招致構想の会場が夢洲に決定し、IRと一体的な開発が行われることで招致活動が進められた。2018年には万博の開催が決定し、インフラ含め工事が始まっている。テーマは「いのち輝く未来社会のデザイン」で、来場者数は2800万人を目指している。資材高騰や人材不足で、開催を危ぶむ声もあるが、その後のIRに繋がるきっかけとして、そして後世に受け継がれるものとして欲しい。

表紙の建築 「SPACESPACE HOUSE +
ローリングタワー屋台」2018年

第66回 大阪建築コンクール大阪府知事賞 受賞作品
設計：香川貴範+岸上純子 (SPACESPACE一級建築士事務所)
施工：super architects
撮影：島村鋼一

この作品は、大阪の中心部にあるにも関わらず人通りの疎らな商店街に大正2年から建つ長屋を、事務所併用住宅として改修し、現代において設計事務所というビルディングタイプと建築のデザインと建築家という職能が、まちや社会に対してどうアプローチし、いかに貢献できるのかということを実験し挑戦する場です。

2 大阪こちエエ

4 Gallery 建築作品紹介

「京都外大西高等学校「本館」」

設計：竹中工務店

施工：竹中工務店

「ヒロセ大阪工場」

設計：大林組大阪本店一級建築士事務所

施工：大林組

「紫竹の家」

設計：プリヤデザイン一級建築士事務所

施工：かわな工業

8 動静レポート

9 Topics

10 Information

12 Close-up Osaka

18 記憶の建築

「青山タワービル」1969年

軽やかさと清楚さ纏うオフィスビル / 松隈 洋

建築人 No.715 2024年1月号

監修 公益社団法人大阪府建築士会 建築情報委員会

編集 建築情報委員会『建築人』編集部

部門長：田鍋 稔

委員長：松下典央(編集部代表)

編集人：石上芳弘 梅田武宏 荻窪伸彦 笠井志保
河合哲夫 大松俊祐 橋本頼幸 北條豊和
牧野隆義 三谷勝章 武藤優哉 村上栄司
茂籠一之 山本恭史

事務局：隅原正太 母倉政美

ロゴ・フォーマットデザイン 芝野健太

印刷 中和印刷紙器株式会社

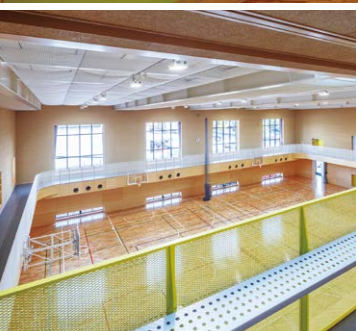
令和6年1月1日発行

発行人：会長／岡本森廣

発行所：公益社団法人大阪府建築士会

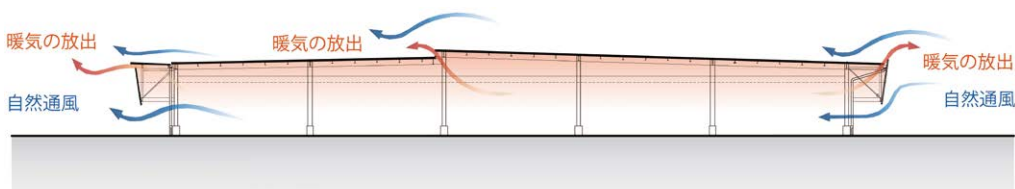
〒540-0012 大阪市中央区谷町3-1-17 高田屋大手前ビル5F

tel. 06-6947-1961



高等学校校舎の建替計画。コロナ禍を経た今、京都外国語大学の併設校として「言葉」や「対話」の大切さを見つめ直し、生徒や教職員が気持ちよく言葉を交わすことのできる「ポストコロナの都市型校舎」を目指した。日影規制と高度地区による高さ制限のある敷地において、機能を高密度に集積した中廊下型校舎であるが、「4階建てL字型校舎」と「体育館」を一体化した構成を生かし、広場・回廊・日常動線が立体的に絡まり合う「風通しの良い、気積の大きな居場所」を計画した。また、「呼吸する外殻フレーム」により十分な換気能力を備え、将来的に更なる増強も可能な計画とすることで、「時代の流れに流されない端正な外観」を実現した。
(寺村雄機)

所在地：京都市右京区
用途：高等学校
竣工：2023.08
構造規模：RC造
一部S・W造
地上4階
敷地面積：18,597.51㎡
建築面積：2,495.94㎡
延床面積：7,507.35㎡
写真：古川泰造



本計画は重仮設資材・仮設橋梁などのリース・販売・設計・施工を行うヒロセ株式会社の大阪工場内、主として資材保管・加工を行う上屋の建替である。従前の工場は夏場の暑い空気が工場内に滞留する厳しい作業環境であり、労働環境の改善が命題であった。この命題に環境配慮をテーマとして取り組み、大阪湾近傍で海風が吹くという立地を活かし、海風を工場内に積極的に取り込む計画とした。自然通風により夏場の作業域温度の低減を図る一方、工場上部に滞留する熱気を排出するため、屋根の風上・頂部・風下の形状シミュレーションを行い、屋根面上部を流れる風により工場内の熱気が外部へ効率よく排出される断面とした。風の力を用いた自然換気計画として空調機器を一切用いず、建築の構成そのものが温熱環境を改善するデザインとした。竣工後のモニタリングにより、作業域の温度低下と環境改善が確認されている。外装デザインは、周囲からの視認性と近傍の住宅地を考慮し、長大な立面長を活かすランダムパターンファサードとし、周囲への圧迫感低減と新工場のアピールを両立した。

所在地：大阪府大阪市
用途：工場
竣工：2022.03(第1期)
構造規模：S造 平屋
敷地面積：89,127.49㎡
建築面積：11,431.84㎡
延床面積：11,519.4625㎡
写真：エスエス



京都市内の閑静な住宅街に計画した住宅。矩形敷地を生活空間として余すことなく活かそうと考え、東側1/3に設けた庭が通り庭のように奥行き全体を内外に貫くイメージで設計を進めた。玄関脇のギャラリーや奥の寝室が通り庭を横切る室構成とし、開口から見える3つの庭の連なりを重視した。ファサードは十分に後退させ、軒下で動線を曲げ玄関までの距離を保った。玄関扉先には、三和土の土間が公・私を分かちように中庭まで繋がる。主空間は通り庭に並行させ大きな平入屋根とし、中庭に向けた建具は低めに抑えた下屋根と連続させ、内外の一体感を強化した。大屋根の下の吹き抜けには、2つの子供室へ向かう鉄骨階段を象徴的に持たえた。

所在地：京都市北区
用途：専用住宅
竣工：2023.08
構造規模：木造2階建
敷地面積：262.26㎡
建築面積：143.18㎡
延床面積：163.34㎡
写真：松村芳治

2024年 「建築人」作品募集



審査委員長 磯 達雄

1963年 埼玉県生まれ
1988年 名古屋大学工学部建築学科卒業
日経BP社入社「日経アーキテクチュア」編集部勤務(～1999年)
2001年～ 桑沢デザイン研究所非常勤講師
2002年 フリックスタジオ共同主宰(～2020年)
2008年～ 武蔵野美術大学造形学部芸術文化学科非常勤講師
2020年～ Office Bunga共同主宰

Gallery 掲載要項

Galleryとは…

公益社団法人大阪府建築士会は、会誌『建築人』を会員サービスの一環として毎月発行しています。発行部数は約3,000部で会員のほか、官公庁、大学、図書館、出版社、報道機関等に頒布しています。この『建築人』では、毎号「Gallery」というコーナーを設けており、皆様の建築作品を掲載しております。皆様の作品を本誌へ掲載しませんか？

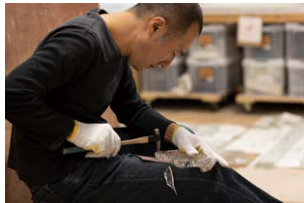
掲載作品は、同時に『建築人賞』候補に！ 『建築人賞』とは

Gallery掲載作品は自動的に大阪府建築士会が毎年表彰している『建築人賞』の候補となります。(毎年1月号～12月号掲載作品)

『建築人賞』は、これまで15回を数える賞で、個人の審査委員長により選考します。賞には、「建築人賞」「建築人賞新人賞」「建築人賞奨励賞」「建築人賞佳作」があり、建築主、設計者、施工者に賞状が贈られます。さらに「建築人賞」「建築人賞新人賞」の設計者の方には、記念品が授与されます。表彰は、5月に行われる建築士会の年次総会で表彰式を挙げており、受賞される建築主、設計者、施工者の方に参加していただいております。



記念盾 グラスアーティスト 佐久間 靖 作 (左：建築人賞 右：建築人賞新人賞)



佐久間 靖

1971年 大阪府高槻市生まれ
1996年 神戸学院大学 法学部 卒業
1997年 株式会社 ロクレーブルプロダクションガラスアーティスト 三浦啓子氏に師事
2016年 株式会社 Jiku Art Creation 作品制作に従事

■ 掲載費用

100,000円(1頁カラー)

*①：初回割引 80,000円

(設計者および施工者が過去10年間、Galleryに掲載されていない場合)

*②：若手初回割引 50,000円

(40歳以下で建築設計事務所を主宰されている方で*①を満たす方)

■ 掲載概要

建築主、設計者、施工者、協力会社、
所在地、用途、竣工年、構造規模、
敷地面積、建築面積、延べ床面積

■ 掲載記事内容

写真4点程度
説明文章：約300字程度

動静レポート

会長動静

- 11/27 吹田市長面談
大阪府収用委員会打合せ
- 11/28 大阪府収用委員会
賛助会員企業面談
全国大会引継ぎ会（連合会）
- 11/29 藤井寺市長面談
近畿建築士会会長会議・協議会
- 12/ 1 岸和田市長面談
- 12/ 2 学生住宅大賞審査会・表彰式
まちづくり分科会活動報告会
- 12/ 4 河内長野市長面談
- 12/ 6 4 団体会長・支部長会議
- 12/ 8 国交省省エネ等講習・講師面談
上海研修旅行説明会
- 12/ 9 防災士フォローアップ研修会
- 12/14 建築4 団体忘年懇親会
- 12/15 阪南市長面談、運営会議
- 12/18 教育事業本委員会（連合会）
- 12/20 正副会長会議、理事会
- 12/21 澤田会長／近畿建築確認検査協会
和泉市長面談
- 12/25 大阪府収用委員会協議

会長・役員による府内 43 市町村訪問

◎ 11/27 吹田市・後藤圭二市長と面談



上田副会長、岡本会長、後藤市長、田中特任顧問

◎ 11/29 藤井寺市・岡田一樹市長と面談



横田副会長、岡田市長、岡本会長、尾鍋元監事

◎ 12/1 岸和田市・永野耕平市長と面談



岡本会長、永野市長、上田副会長、堤副市長

◎ 12/4 河内長野市・島田智明市長と面談



田中部長、榊井副市長、島田市長、岡本会長、石貫副会長、五嶋委員

◎ 12/15 阪南市・水野謙二市長と面談



水野市長、岡本会長、上田副会長、藤江理事

◎ 12/25 和泉市・辻宏康市長と面談



濱田顧問、岡本会長、辻市長、横田副会長

12 月度 理事会報告

日時 12月20日（水）16:00～18:00

場所 本会会議室

出席 理事 45/47 名 監事 2/2 名

(1) 入退会の承認

(人)	11月	入会	退会等
正会員	2,292	3	4
準会員	31	0	0
特準会員	23	1	0
賛助会員	139	0	0
計	2,485	4	4

(2) 会計報告

(円)	11月計	累計
収入	13,835,651	110,149,934
支出	12,535,018	81,523,238
差引	1,300,633	28,626,696

上表の当期経常増減明細を承認しました。

(3) 公共施設 BIM カルテ活用支援事業の提案

国から都道府県等に公共施設の効率的な運用のために BIM モデルの活用が推奨されており、本会で施設の一元管理に係るカルテを作成して自治体への支援を事業化する提案があり、建築行政への協力が繋がることから基本方針として承認しました。

(4) 電子取引データの訂正及び削除の防止に関する事務処理規程

国税関係帳簿書類の保存方法等の特例に関する法律第7条に定められた保存義務を適正に履行するため、事務局における電子取引データの取扱い等を定めた規程として、承認しました。

(5) 建築4 団体忘年懇親会の存続

4 団体会長・支部長会議での年末恒例行事の4 団体忘年懇親会を来年度から中止する意向を受け、単年度赤字決算が続く状況で繰越金も減少する中、団体による同行事の赤字補てんは難しいことも反映して、今年は収支を整えるために参加費・協賛費が高額になり会員や協賛会社への負担を強いていることなどを踏まえ、本会では一定の役割を終えたものとして中止に賛成としました。

～アルミサッシの組立ラインを見てみたい～関西不二サッシ(株) 工場見学会

日時：令和5年12月8日(金)
会場：関西不二サッシ株式会社
参加者：26名



前田利文(社会貢献部門 地域まちづくり委員)

日頃より、何気なく取り扱っているサッシ。精巧に作られているサッシには、実はたくさんの「工程」を積み重ねられ、たくさんの「ヒトの目」でたくさんの「チェック」を受けることで出来上がるのです。

そんな身近にあるサッシを目で見て、触れることで機械とヒトのモノづくりの融合を体験し、理解を深めて頂くべく、今回のイベントの開催に至りました。

今回、見学させていただいた不二サッシ(株)様は創業100年を見据えているサッシ業界では老舗であり、グループでもある関西不二サッシ(株)様は主にビル用サッシと住宅用サッシの製造を手掛けており、大阪府高槻市を拠点としてサッシ一筋、「モノづくり」に対して実直に取り組んでいる企業でもあります。

まず、不二サッシ(株)大阪支店 前田様より、見学のタイムスケジュールや工場見学時の注意事項の説明をしていただき、関西不二サッシ(株)中林生産統括部長様より製造工程を

DVDにて紹介していただきました。その後、2班に分かれ、工場内にてサッシの組立ラインの工程説明を受けました。

工場は第1～第3工場まであり、製造部門である材料供給、ビルライン、住建ラインと分かれており、各工場での製造過程を間近で見学することができ、各パーツ毎の組立のほとんどが繊細な手作業でおこなっていることに参加者の多数の方が驚きを隠せず、「モノづくり」の大事さを感じました。

次に、ショールームにて最新商品の説明を受けました。そこではサッシ、ガラス、照明と3社による協業で開発されたサッシの紹介があり、機能だけでなくデザインにも注力された商品開発にも推進されており、「新時代の予感」を感じました。

続いて、サッシ組立作業体験をさせていただきました。実際に専用工具を使ったビスの締め付けによるサッシの組立、解体体験や、サッシ表面被膜の膜厚測定の実験をさせていただき、サッシの各接合部分で使用

されているビスの締め付けの管理には、トルク値で管理されており、この厳格なヒトによる管理により品質の高いサッシが完成されているということを再認識することができ「高品質な管理体制」を体感できました。最後の質疑応答では、参加者からの活発な質疑応答もあり、参加された皆様には非常に有意義な見学会になったものと感じております。不二サッシ株式会社様、関西不二サッシ株式会社様の皆様、関係者様の皆様のご協力とご配慮により大変貴重な体験をさせていただきました。ここにお礼申し上げます。



建築相談室から(79) 面接相談から③

橋本頼幸(建築相談委員会幹事)

11月号から紹介している有料の面接相談(平日午後4時～5時・1時間以内:5,500円(税込))の記録から今月もいくつかご紹介いたします。今月はマンションの面接相談特集です。

水漏れを管理組合が直してくれない

15階建てマンションの天井より水漏れが住戸全域に発生した。水漏れ跡が天井に残っている。水漏れは止まったようだがまだ水分を多く含む状態であり、水漏れ跡がでないように修理を依頼しているが、対応してもらえない。どうしたらいいか?という相談。この方は、購入前にリフォームをしているとこのことで、以前リフォーム時に天井に水漏れが無かったのであればリフォーム業者にその旨の証明をもらった上で、管理組合に申し入れ、期限を設けて返答をもらってください。協議内容は全てメモをしてください。とアドバイスをしています。

マンションリフォームが納得いかない

昨年マンションのリフォームをしたが指示した内容と仕上がりが異なっており、仕上がりの程度も悪く、職人の態度も横柄で納得できていない。以前になかった外部からの騒音が酷くなった、室温も低下して寒くなったなども気になってどうにかしたい。どうしたらいいか相談したい、とのこと。指示の異なるどころ、仕上がりの悪いところは手直しをしてもらってください。外部騒音が酷くなったのは、換気扇に接続されているダクトを通して音が入っている可能性がある。消音ダクトを使って軽減する方法がある。小さな部屋をまとめて大きな空間にしているので寒くなったと考える。厚手のカーテンなどで間仕切りを設置したり、樹脂の内窓を設けるなどではどうか。根気は必要だが問題点は指摘して直してもらおうことを考えてください。とアドバイスしています。

マンションの漏水から組合運営の相談へ
マンションに住んでおられる方からの相談。下階から水漏れを指摘されたが、今まで漏らしたことがないのでどこから漏れているかわからない。築40年のマンションで最近共用部分のメンテナンスをしていない。マンションの維持管理は理事長のみですめているようだ。先日屋上の水張り検査をしたが水漏れは確認できなかったと言われた。このマンションは毎年のように立管のどこかで水漏れをおこしているとのこと。原因がわからない状態でどうしたらいいか、という相談。この相談には、まず現地相談をすすめています。最近メンテナンスをしていないことは大いに問題だと思う。理事会が機能しておらず理事長が強引に業者を段取りして誰も何も言わない状態で、維持管理が滞っていることは問題。しかるべき建築士やコンサルタントの紹介をおすすめしています。

建築士会からのお知らせ

既存建築物耐震診断等の評価

本会では、「建築物の耐震改修の促進に関する法律」の改正に伴い、建築構造の学識者や実務者で構成する「建築物耐震評価委員会」を組織し、平成26年1月より建築物耐震評価業務を実施しております。不特定多数が利用する施設や沿道建築物など、申込者が検討した建築物の耐震診断及び耐震補強計画について、専門的観点のもとに審査・審議を行い、妥当であると認める申込案件に対して評価書を交付します。スピーディな審査を心掛けておりますのでどうぞ活用ください。

(業務内容)
耐震診断報告書の審査、評価
耐震補強計画書の審査、評価 等
(対象建築物)
公共・民間等の建築種別、用途、規模、構造種別は問いません。また、他府県の建築物も対象としております。

(会員特典)
申込者又は診断等実施者が本会会員の場合は、評価手数料の10%割引があります。

既存住宅状況調査技術者講習

新規講習1/18 更新講習3/13
CPD新規5単位、更新各2単位

既存住宅状況調査は、登録機関の講習を修了した建築士のみ認められる業務です。ぜひ本講習で新たな業務の資格を取得してください。なお、2020年度に本講習を修了された方は本年度が有効期限となりますので、更新講習をご受講ください。

▼新規講習(DVD)
日時 1/18(木) 9:30~17:00
会場 大阪府建築士会 東会議室
定員 30名(定員に達し次第締切)
受講料 WEB申込21,450円
郵送申込22,000円

▼更新講習(DVD)
日時 3/13(水) 13:30~16:50
会場 大阪府建築士会 東会議室
定員 30名(定員に達し次第締切)
受講料 WEB申込17,000円
郵送申込17,600円

▼申込 日本建築士会連合会ホームページよりお申込みください。上記以外にオンライン講習も開催いたします。

令和5年度監理技術者講習

(監理技術者以外の方も受講可能)
1/26、2/14、3/8 CPD各6単位

本講習会は建設業法に基づく法定講習であり、建築に特化したテキストを使用し、経験豊富なベテラン技術者の講師による解説と映像で、実務に役立つ情報を提供いたします。なお、監理技術者以外の建築士や技術者

の方も受講が可能です。日頃の工事監理業務に役立ちますので、ぜひご受講ください。
日程 1/26(金)、2/14(水)、3/8(金)
時間 8:55~17:00
会場 大阪府建築士会 東会議室
定員 各回30名(定員に達し次第締切)
受講料 WEB申込み9,500円
郵送申込み10,000円
申込 日本建築士会連合会ホームページよりお申込みください。
<http://www.kenchikushikai.or.jp/torikumi/news/2015-07-28-2.html>

令和5年度建築士定期講習

1/30、2/6、3/29 CPD各6単位

建築士法の規定により、建築士事務所に所属するすべての建築士は3年以内ごとに定期講習を受講しなければなりません。本年度は令和2年度に本講習を受講された方や、建築士試験に合格された方が対象となります。未受講者は懲戒処分の対象となりますので必ず年度内に受講してください。

▼対面講義
日程・会場・定員
※2/6(火) 大阪YMCA会館 200名
▼DVD講義
日程・会場・定員
1/30(火) 大阪府建築健康会館 90名
3/29(金) 大阪府建築健康会館 90名
時間 9:15~17:00(各講習日共)
受講料 12,980円(消費税込。事前振込)
申込方法

申込用紙を建築技術教育普及センターHPからダウンロードしてください。(令和2年度受講者には、同センターから直接申込書を郵送しています。)
ご記入後、大阪府建築士会事務局又は大阪府建築士事務所協会事務局へ持参していただくか、簡易書留にて郵送してください。受付場所(送付場所)
※印の日程 大阪府建築士会事務局
※印以外の日程 大阪府建築士事務所協会事務局
建築技術教育普及センターHPからWEB申込みも可能です。
<https://jaeictkosyu.jp/jaeicteikikosyu/>
(注)各回定員に達し次第、受付を終了します。

令和5年度大阪府ヘリテージマネージャー スキルアップ講習 第5回(兼ステップアップ講習)

2/10 CPD4単位(予定)

本講習は、ヘリテージマネージャーのさらなるスキルアップを目的に行う講習会です。全6回の講座で保存活用、調査や修復技術などを学びます。
日時 2/10(土) 13:00~17:00
テーマ 「伴林氏神社で近代和風社殿の歴史と価値を考える」
講師：窪添正昭氏
(窪添正昭建築設計事務所)
「近代和風社殿での調査と所見作成(伴林氏神社を事例として)」

講師：木本久晴氏(株金剛組)
「四天王寺工匠の仕事～遺構や古図面を通じて～」
現地見学会および氏子のお話あり。
会場 伴林氏神社(藤井寺市)
定員 30名(予定 申込先着順)
受講料 本会会員及び大阪府ヘリテージマネージャー協議会会員1,000円
一般2,000円

令和5年度大阪府ヘリテージマネージャー スキルアップ講習 第6回(兼ステップアップ講習)

2/24 CPD4単位(予定)

本講習は、ヘリテージマネージャーのさらなるスキルアップを目的に行う講習会です。全6回の講座で保存活用、調査や修復技術などを学びます。
日時 2/24(土) 13:00~17:00
テーマ 「(仮)煉瓦と庭」
講師：山岡邦章氏
(岸和田市郷土文化課)
講師：福原成雄氏
(造園家・大阪芸術大学教授)

会場 自泉会館(岸和田市)
定員 30名(予定 申込先着順)
受講料 本会会員及び大阪府ヘリテージマネージャー協議会会員1,000円
一般2,000円
※詳細については、内容確定次第本会ホームページに掲載いたします。

確認申請のプロ養成講座 初級編

2/28 CPD4単位(予定)

Point1
なかなか教えてもらえなかった確認申請。その基本を知りたくて、あなたは確認申請のプロと呼ばれる。そんな講座がスタート!
Point2
訂正項目が少なく、審査がしやすい申請図面が作成できれば建築着工も安心!
Point3
常に変化している確認申請の世界。住宅の省エネ適合義務化や4号特例の縮小、そして申請のデジタル化による電子申請などの最新事情がわかる。
★フォローアップ付き!
受講者の皆様には確認申請書の書き方等に関する質問に対応いたします。(1年間)
※今回参加できない方は後日受講できる、オンデマンド配信も予定しています。詳細は別途ご案内いたします。

日時 2/28(水) 13:00~17:30
会場 大阪府建築健康会館 6階ホール
(大阪市中央区和泉町2-1-11)
〔谷町四丁目〕徒歩6分)
定員 70名(申込先着順)
受講料 建築士会会員6,000円
後援団体会員6,500円
一般7,000円
申込 大阪府建築士会HPより
主催 近畿建築確認検査協会
共催 (公社)大阪府建築士会

第67回大阪建築コンクール

1/15~3/1

本コンクールは、建築士と社会とのかかわりを通して建築作品を評価し、その優れた実績をたたえ、建築作品の設計者を表彰するものです。

●募集対象
大阪府知事賞部門、渡辺節賞部門
両部門共、建築物の用途・規模は問わない
●審査員
委員長 橋爪紳也(大阪公立大学研究推進機構特別教授)
委員 植野基一(大阪府都市整備部住宅建築局公共建築室室長)
根本哲夫(奈良女子大学教授)
樹田洋子(尚桃李舎代表取締役)
山本麻子(大阪工業大学特任准教授)
●応募期間 1/15(月)~1/31(水)
●応募資格
・大阪府知事賞部門：本会正会員または大阪府在住もしくは在勤の方。
・渡辺節賞部門：本会正会員または大阪府在住もしくは在勤の方で、完了検査済証の発行日時時点で39歳の方。
●応募料 本会正会員 20,000円/作品
本会正会員外40,000円/作品
※応募詳細については本会ホームページをご覧ください。

令和5年度文化庁文化芸術振興費補助金

「はじめよう、文化財の活用(文活)」
1/21、1/27、2/18

毎回異なる国登録有形文化財などを会場に、ワークショップや建物見学、まち歩きなどを行います。所有者から保存と活用の取り組み事例や課題についてのお話を伺いながら、活用を通じて文化財を保存する力、いわゆる「文活BUN・KATSU」を学ぶ講座です。歴史的建造物やまちなみ、そして伝統文化などを楽しみませんか。
参加費 各回1,500円
定員 各回24名(申込先着順)

●第3回 集って交わす「煎茶」のたのしみ
庭の美しい江戸時代の大庄屋屋敷で煎茶と文人の文化を楽しみます。
講師 佃 梓央氏(一茶庵宗家嫡承)
日時 1/21(日) 13:30~16:30
(13:15 JR京都線岸辺駅改札前)
会場 旧中西家住宅
(吹田吉志部文人墨客迎賓館)
吹田市岸部中4丁目13-21
申込 Googleフォームより



●第4回 茶の湯にふれる
歴史ある水無瀬神宮でお茶の点て方や、お抹茶など体験しませんか。
講師 松井宗豊氏(茶道裏千家業鉢)
日時 1/27(土) 13:30~16:30
(13:15 島本町立歴史文化資料館 集合 JR京都線島本駅東口すぐ)
会場 水無瀬神宮
島本町広瀬3丁目10-24

Informationの詳細及び申込みは本会ホームページに掲載しています。

【大阪府建築士会】大阪市中央区谷町3-1-17 高田屋大手前ビル5階

http://www.aba-osakafu.or.jp/ メール info@aba-osakafu.or.jp TEL.06-6947-1961 FAX.06-6943-7103

申込 Googleフォームより



●第5回 江戸時代の商家で「和菓子づくり」
江戸時代のレトロな雰囲気の中で、桜とうぐいすの春の和菓子を作ります。
講師 出口勝正氏（「菓子処ふる里」店長）
日時 2/18（日） 13:30～16:30
（13:15南海本線貝塚駅改札前集合）
会場 旧吉村家住宅 貝塚市西町12-7
申込 Googleフォームより



中大規模木造設計セミナー

2/2 CPD3単位（予定）
2/22 CPD4単位（予定）

「公共建築物の木材利用促進法」が2010年に施行され、低層の公共建築物などは原則として木造化、木質化することが義務付けられました。本セミナーでは、2015年に改正された文部科学省の「JIS A 3301 木造校舎の構造設計標準」に基づき、流通材と住宅用の一般的プレカットを活用することで鉄骨と価格的に競合でき、意匠設計者であっても比較的容易に中大規模の木造建築物の設計が行える設計指針を解説いたします。この指針は、校舎をはじめ福祉施設、倉庫、事務所など一般用途の施設の設計も対象としています。なお、本セミナーはDVDによる講習となります。

▼「実現のための手法編」

日程 2/2（金） 13:30～16:55
※2020年2月22日開催『中規模木造設計セミナー「実現のための手法」』と同内容となります。

▼「木造低コスト化」

日程 2/22（木） 13:30～17:20
※2020年2月28日開催『中規模木造設計セミナー「木造低コスト化」』と同内容となります。

会場 大阪府建築士会会議室
参加費 各2,000円（テキスト代込み）
定員 各40名（申込先着順）
申込・詳細 大阪府建築士会HPより

近畿建築士会協議会青年部会
藤森照信×千利休 in 堺
2/10 CPD6単位（予定）

午前は旧市街の環濠エリアを中心に街歩きや見学をおこない、堺の歴史や文化を学びます。午後は建築史家・建築家で、茶室に関する著書もある東京大学名誉教授 藤森照信氏の「講演」と倉方俊輔氏との「トークセッション」を通して、茶の湯を初めてする堺で生まれた文化が、日本の建築や都市に与えた影響を学びます。

日時 2/10（土） 9:00～16:30
会場 集合 堺市役所前広場
講演会場 フェニーチェ堺
参加費 会員2,000円 一般3,000円

学生1,000円
申込締切 2/3（土）

令和5年度文化庁文化芸術振興費補助金
「地域の文化財等の普及啓発のためのまち歩きとシンポジウム」
歴史を知る、歴史的建造物にふれる、まち歩きを楽しむ
3/9

■まち歩き
日時 3/9（土） 10:00～12:00 予定
参加費 1,000円
【Aコース】
文化財見学とまち歩き：豊中市、定員15名

案内：陸奥 賢氏
集合：阪急宝塚線岡町駅改札前
天武天皇の頃の創建とされる原田神社、江戸時代の庄屋屋敷の奥野家住宅、大正時代の和洋折衷の住宅と重森三玲作庭の庭園のある西山家住宅を拝見し、岡町の歴史と文化を探るまち歩きを楽しみます。

【Bコース】
関西大学村野建築めぐり：吹田市、定員15名
案内：橋寺知子氏
集合：関西大学簡文館（博物館）前
村野藤吾は1950年頃から約30年間にわたり関西大学千里山キャンパスに約40棟の建物を設計しました。起伏が有り緑豊かな35万㎡のキャンパスには今も約半数が存在。村野建築の多様性を体感しましょう。

【Cコース】
在郷町の酒蔵めぐり：池田市、定員15名
案内：ヘリテージマネージャー
集合：阪急宝塚線池田駅改札口前
江戸時代、池田は猪名川の伏流水を利用して作られた酒が名産品でした。今も吉田酒造と呉春がその伝統を継承しています。また、在郷町として栄えたこの地域では大正時代の近代建築なども見どころです。

■シンポジウム
日時 3/9（土） 14:00～16:30
会場 豊中市立文化芸術センター 多目的室
豊中市曾根東町3-7-2

定員 130名
参加費 500円
登壇者 仙海義之氏（公財）阪急文化財団 理事・館長
橋寺知子氏 関西大学環境都市工学部准教授
陸奥 賢氏 観光家 いわき時空 散歩プロデューサー

他北摂のまちの歴史を仙海氏から、歴史的建造物の見方や魅力を橋寺氏から、まち歩きの方法や楽しみ方を陸奥氏から伝えていただき、歴史的なまちなみと建造物の保存・継承・活用について考えてみませんか。

その他のお知らせ

地盤工学会関西支部
地盤工学のためのデータサイエンス基礎講座
2/1

地盤工学会関西支部では、データ解析の基礎的な事項について理解するとともに、地盤工学におけるデータの特性や他分野の違い、その特性を考慮したデータ解析の必要性について学ぶことを目的として、今までベイズ推定や機械学習という言葉聞いたことがあるが、よく分からないといった方を対象にした基礎的な講習会を企画しました。簡単な演習も行います。なお、講習会後には交流会を行います。

日時 2/1（木） 13:30～17:20
（交流会は19:00まで）
場所 ドーンセンター（大阪府立男女共同参画・青少年センター）+Zoomミーティング（対面とオンラインのハイブリッド開催）
定員 会場60名+Zoom100名
参加料 会員2,750円 非会員3,850円
学生の会員1,650円

交流会の参加費 1,100円（学生は無料）
※特別会員に入会企業の方は、非会員でも会員価格でご参加いただけます。
※協賛団体の会員は会員価格です。
申込期限 1/19（金）
申込方法

関西支部HPより、必要事項をご記入のうえお申込み下さい。FAXもしくはE-mailでもお申込み可能です。申込受付後、Zoomにて参加される方にはZoomミーティングID・パスコードをE-mailでお知らせします。また、登録住所へ請求書を郵送いたします。
申込先 （公社）地盤工学会関西支部
〒540-0012 大阪市中央区谷町1-5-7
ストークビル天満橋801号
Tel.06-6946-0393 Fax.06-6946-0383
E-mail: office@jgskb.jp
http://www.jgskb.jp

2023年度日本建築学会支部共通事業
「建築基礎構造設計例集」改訂講習会
2/1

『建築基礎構造設計例集』の前回改訂から20年が経過しました。今回の改訂は、上部構造の2次設計で想定する荷重に対して基礎構造も設計することを基本とした2019年の『建築基礎構造設計指針』（基礎指針）の改定を受けて、その内容に沿った設計例集となるよう作り直したもので、セットで活用いただける幸いです。今回の刊行を機会に、書籍に沿って内容をご説明する講習会を企画しました。奮ってご参加ください。

日時 2/1（木） 9:50～17:00
場所 大阪科学技術センター 大ホール
定員 140名
参加料 日本建築学会会員13,000円

後援団体会員15,000円
上記以外18,000円
申込 日本建築学会近畿支部「建築基礎構造設計例集」改訂講習会係
Tel.06-6443-0538
https://www.aij.or.jp/event/detail.html?productid=685296

日本建築学会主催
講習会「建築物の解体工事施工指針（鉄筋コンクリート造編・鉄骨造編）」
3/1

「建築物の解体工事施工指針（鉄筋コンクリート造編・鉄骨造編）」の発行に際して講習会を開催しますので、建築物の解体工事に携わる技術者各位におかれましては、ふるってご参加のほどお願いいたします。
日時 3/1（金） 13:30～16:50
場所 大阪科学技術センター 中ホール
定員 100名

参加料 日本建築学会会員9,000円
後援団体会員11,000円
上記以外14,000円
申込 日本建築学会近畿支部講習会「解体工事施工指針」係
Tel.06-6443-0538
https://www.aij.or.jp/event/detail.html?productid=692177

本誌Galleryに皆様の建築作品を掲載しませんか？

本誌「建築人」は毎月約3,000部を発行し、本会会員をはじめ官公庁、大学、図書館、出版社、報道機関等に頒布しています。ぜひ本誌Galleryに皆様の建築作品を掲載しませんか。なお、掲載作品は本会が表彰する「建築人賞」の候補となります。掲載ご希望の方は、お気軽に事務局までご連絡ください。

●掲載記事 1頁カラー、写真4点程度（詳細は本誌Galleryページ参照）

●掲載費用 100,000円
※1 初回割引80,000円（設計者および施工者が過去10年間、Galleryに掲載されていない場合）

※2 若手初回割引50,000円（40歳以下かつ建築設計事務所を主宰され※1を満たす方）

●詳細・申込 事務局担当：母倉
e-mail: info@aba-osakafu.or.jp
TEL:06-6947-1961

トカイナカ、はんなんのまちづくり



阪南市 未来創生部理事（兼）政策共創室長 藤原健史

阪南市の概要について

阪南市は、大阪府の南泉州地域に位置する市で、南海本線尾崎駅を中心に発展したまちです。

本市は、市街地を囲むように、大阪湾と緑豊かな和泉山脈が近接しているため、様々なアウトドアレジャーが楽しめる自然環境に恵まれたまちです。大阪市内（なんば駅）から37分、関西国際空港から電車で17分で、阪南市（尾崎駅）まで来ることができます。阪南市には、3つの漁港から水揚げされる地魚、水なす、和紙の布、創業300年の酒蔵の日本酒「浪花政宗」、黒毛和牛「なにわ黒牛」、昔ながらの製法で作り上げるおかしなどの特産品がございます。



移住定住WEB

大阪を代表する里海里山づくりの推進

令和4年5月に「SDGs未来都市」となり、農空間や海浜空間といった地域資源を活かしたカーボンニュートラルの取組を通じて様々な関係・交流人口を増やしていくことを目指しています。これまでに、ブルーカーボン推進に取り組み、令和2年度からオフセット制度の認証を受けてきた実績がございます。また、令和5年10月に、阪南の海で活動する阪南セブン海の森は、環境省より自然共生サイトの認定を受けました。

さて、今般は、主に本市総合戦略のなか“住みたくなる、魅力に溢れたまちづくり”の取り組みや大阪・関西万博の取り組みなど交流を大切にしている阪南市のまちづくりについて、紹介させていただきます。

戦略的プロモーションにより阪南ファン（関係人口）を創出

新型コロナウイルス感染症により、働き方の変容が求められ、テレワークが普及しまし

た。テレワークが一定定着したニューノーマル時代は、郊外ヘリピングシフトすることに新しいライフスタイルとしての価値が創出されました。この機会にまちの魅力を伝え、関係人口を築いていくことができるように様々なプロモーションに取り組んできました。令和5年度は、移住者向けのイベントとして、歌手や移住希望者向け雑誌編集長などの有名人を招いて、阪南市の魅力を伝えるセミナーやラジオ番組公開収録など開催し、多くの方と交流することができました。



「おいでや！ いなか暮らしフェア2023」

移住定住を支援する取り組み

阪南市では、首都圏や大阪都市圏などの人材に本市で働き・暮らし・交流する体験の場の提供として、テレワークステーションやサテライトオフィスなどサードプレイスの整備を行っています。阪南市では、多様な働き方の推進に資することで、関係人口の増加や移住定住の促進に努めています。

阪南市役所庁舎内に、国の交付金を活用し、テレワークステーション「サラステ」を開設し、海岸沿いの住宅地には、サテライトオフィスを整備し、コワーキングスペースや滞在型シェアオフィス「BY THE SEA」を提供しています。

因みに、本市の昨年度の人口動態から転入者は、一昨年度と比較し、約100名増加して



Telework Place「サラステ」

います。転入者の傾向として、20代と30代が増加しています。

大阪・関西万博での交流から新しい地域価値の創造、コミュニティづくりへ

阪南市では、大阪・関西万博へ向けて、TEAMEXPO2025プログラムのなか、里山・里海をフィールドにした主に環境・健康分野での取り組みについて、共創パートナー登録をしています。お陰様で本市での共創チャレンジ数は、令和5年11月末時点で37件となりました。共創チャレンジには、多くのネットワークが本市で形成され、多くの交流が生まれていくものと考えています。地域コミュニティは、大阪・関西万博を契機に、自律分散型社会に適応した、参加しやすいオープンでフラットな組織構造や様々な考えを許容する創造的な組織へと変容し、移住しやすいまちへ一緒に進めていくことができると考えています。



ゲーム史博物館計画展示会の様子



まちづくりワークショップの様子

自然と共生するなか、様々な交流をとおして、“新しい価値が創造され、一人一人が輝いているまち”をめざし、まちづくりを各方面で進めていきたいと思ひます。

最後に、ストレスフルな生活に疲れてきたときや自分らしく生きたいと感じたときは、ほどよい田舎暮らしができる阪南市へ是非お越しください。

泉南りんくう公園 (SENNAN LONG PARK)



泉南市 公共施設再編室 公共施設再編課 課長代理 奥野誠也

○泉南市の概要

泉南市は、現在の人口は約59,000人で、大阪都心部から40～50kmにある大阪府南部に位置しており、北西部は大阪湾に面し、市域には関西国際空港の約3分の1を含め、海や山の豊かな環境に恵まれています。また、関西国際空港からのアクセスに優れ、沿岸部のりんくうタウンには、大型商業施設が立地するほか、製造・加工関係の事業所等が集積しています。

○事業化の背景

泉南りんくう公園 (SENNAN LONG PARK) (以下、「SENNAN LONG PARK」という。)の用地は、大阪府がりんくうタウンのまちびらき後、泉佐野市、泉南市及び田尻町の2市1町に跨る「府営りんくう公園」として整備する予定地でした。ただし、府営公園としての整備は泉佐野市域の一部に留まり、大半は20年以上未整備の状態が続いたため、泉南市が大阪府より泉南市域の同用地を無償で借り入れ、市営公園として整備することとなり、(仮称)泉南市営りんくう公園整備等事業がスタートしました。

○事業の目的

本事業は、「泉南市の魅力があふれるにぎわい・交流拠点の創出」を基本方針に、民間事業者の創意工夫により、良好な都市環境の創出と、憩い・スポーツ・野外活動などを通じた健康増進や広域的なにぎわいと交流の創出を図り、地域の魅力向上に資することを目的としました。

○事業スキーム

PFI法に基づく都市公園の整備、維持管理及び運営を行う事業。事業方式はBOT方式及びBOO方式を採用。事業類型は公費を一切投入しない独立採算型です。また、事業期間は30年間で、事業者へのインセンティブとして、公園使用料(設置管理許可使用料)を事業期間中無償とし、事業者が所有する公園施設(家屋)の固定資産税・都市計画税について10年間減免する措置を講じることとしました。

○SENNAN LONG PARKの概要

整備面積：約10.8ha
既設管理面積：約7.6ha
事業区域面積：約18.4ha



公園全景

整備された公園は4つのエリアにゾーニングされ、詳細は以下のとおりです。

□アクティビティエリア：スポーツ施設が充実している活発でエネルギー溢るエリア
(主な施設：合宿所・サッカーグラウンド・3by3コート・アスレチック)



アクティビティエリア 合宿所

□コミュニティエリア：テラス席のある飲食店や展望台など開放的でくつろぎ感に満ちたエリア

(主な施設：飲食店、バーベキュー場・一般園地・キャンプ場)



コミュニティエリア 飲食店



コミュニティエリア バーベキュー場

□マルシェエリア：地元の食材が揃うマルシェなど健康的で日常使いのできるエリア
(主な施設：マルシェ)



マルシェエリア

□グランピングエリア：快適なグランピング施設が並ぶ贅沢で落ち着いたエリア
(主な施設：グランピング)



グランピングエリア

○SENNAN LONG PARKのこれから

開園4年目を迎えましたが、今後も市民をはじめとする多くの人が愛着を持てる公園であり続けるため、官民の強固な連携のもと、更なる公園の魅力向上に努める必要があります。ただし、あくまでも主役は地域です。公園の魅力向上とともに地域が活性化する取組を市民、事業者、泉南市が一体となって実施し継続していくことが大切だと思っています。最後となりますが、多くの皆さまのご来園を心よりお待ちしております。

安心・安全・快適なモノづくりをめざす

上田茂久

株式会社 上田茂久・建築設計工房
大阪市北区中津1-12-3

DX・GX・SXを通じて社会貢献を!

岡本森廣

株式会社 長田建築事務所
大阪市中央区谷町9-5-28-806

澤本侃一郎

株式会社 K&S総合企画
大阪市西区京町堀2-2-1
(スマタビル10F)

謹賀新年 新たなステージを!

田中義久

株式会社 田中都市建築事務所
(TANATOSHI DESIGN NET)
大阪市住吉区帝塚山西1-11
A-101

2025大阪関西万博を成功させよう!

徳岡浩二

株式会社 徳岡設計
TOKUOKA SEKKEI MYANMAR Co., LTD(YANGON)
大阪市中央区本町橋5番14号
(オージービル本町橋3階)
大阪・東京・滋賀・九州

SDGs 人類共有の目標の実践へ

柳川陽文

株式会社 小河建築設計事務所
大阪市中央区瓦町3-3-7
(瓦町KTビル6F)

あけましておめでとうございます

横田友行

株式会社 能勢建築構造研究所
大阪市中央区瓦町3-3-7
(瓦町KTビル)

建築設計事務所 他

人、社会、地球環境との共生

大松 敦

株式会社 日 建 設 計
大阪市中央区瓦町3-6-5

夢ある未来の創造

金峰鐘大

株式会社 I A O 竹田設計
大阪市西区西本町1-4-1

湯浅武夫

株式会社 阿波設計事務所
大阪市浪速区元町2-2-12

米井 寛

株式会社 東畑建築事務所
大阪市中央区高麗橋2-6-10

渡邊浩文

公益社団法人日本建築積算協会
関西支部 支部長

100年をつくる会社
鹿島

常務執行役員
支店長 茅野 毅

関西支店：大阪市中央区城見2丁目2番22号 電話06(6946)3311
本社：東京都港区元赤坂1丁目3番1号 電話03(5544)1111

大成建設
TAISEI

For a Lively World

専務執行役員関西支店長 加賀田 健司

関西支店：大阪市中央区南船場1-14-10 電話06(6265)4504
本社：東京都新宿区西新宿1-25-1 電話03(3348)1111

想いをかたちに 未来へつなぐ

 **TAKENAKA**

取締役社長 佐々木 正人

〒541-0053 大阪市中央区本町4-1-13
〒136-0075 東京都江東区新砂1-1-1

建材・設備会社 他



CAZARY® ORNAMENTAL HARDWARE
建築用装飾金属設計製作施工

株式会社 **アルテック**

代表取締役
社長 加藤 節夫

大阪営業所 〒556-0006 大阪府大阪市浪速区日本橋東1-4-1
TEL 06(6644)6421(代)



UCHIYAMA

〈会社案内〉



明けましておめでとうございます。
内山鑑定株式会社

代表取締役社長
1級損害保険登録鑑定人

内山 真

〒107-0052
東京都港区赤坂 2-2-17
ニッセイ溜池山王ビル 8F
TEL:03-5545-8600 FAX:03-5545-8619

<大阪市内最大規模>人気のモデルハウスが 30 棟！

花博 記念公園
ハウジングガーデン 
HANA HAKU MEMORIAL PARK HOUSING GARDEN

〒538-0037 大阪市鶴見区焼野 1 丁目南 2 番

電話番号 06-6915-3571 主催/  一般財団法人 大阪住宅センター

🔍 検索 花博展示場 理事長 横小路 敏弘

後援/大阪府・大阪市・住宅金融支援機構近畿支店



一般社団法人
大阪電業協会

会長 上坂 隆 勇

〒530-0055
大阪市北区野崎町9番8号 永楽ニッセイビル
TEL(06)6363-4077 FAX(06)6363-4079
ホームページ <https://www.osdenkyo.or.jp/>

人と建物をつなぐリノベーションリーダー-KGS



近畿外壁仕上業協同組合

理事長 宮澤 健一

〒550-0011 大阪市西区阿波座1丁目7番12号
TEL (06) 6533-0768 FAX (06) 6533-0784
URL <http://www.kinki-gaiheki.or.jp/>



荷物用エレベーターもクマリフト。

荷物用・人荷用エレベーター
小荷物専用昇降機(ダムウェーター)
メンテナンス・保守・リニューアル

総合エレベーターメーカー

クマリフト株式会社

本社：大阪市西区京町堀1-12-20
TEL：0120-07-0570
ホームページ：www.kumalift.co.jp

人と建築を繋ぐ知恵を育て、幸せな社会をつくる

株式会社 建築ピボット
(構造システム・グループ)

代表取締役 千葉 貴史

東京都文京区関口2-3-3 目白坂STビル
支社・営業所：大阪、札幌、仙台、名古屋、福岡



マンション・ビルの大規模修繕工事
高分子株式会社



代表取締役 山口 朗

〒599-8271 大阪府堺市中区深井北町3418-1 TEL：072-278-4157(代表)

建築・インテリア・土木・造園
建設のすべては、修成で学ぶ

学校法人 修成学園
修成建設専門学校

理事長 山下 裕貴

〒555-0032 大阪市西淀川区大和田5丁目19番30号
TEL.06-6474-1644

キノウを超える、ミライへ。

DAIKEN

大建工業株式会社

大阪市北区中之島3-2-4
中之島フェスティバルタワー・ウエスト
06-6205-7214

中和印刷の
ネットショップ

1個から作れる!

高品質 安心価格 小ロット対応

クリアファイルなどノベルティに! サンプル作成にも便利!

CHUWA

まずはこちらから→
<https://chuwa.shop-pro.jp/>

中和印刷紙器株式会社

中和印刷 検索

〒640-8225 和歌山市久保丁4丁目53 TEL.(073)431-4411 FAX.(073)431-8188

低炭素化の防水仕様で環境へ貢献



■ピロウエルドE新熱工法 ■シグマートE

日新工業株式会社

大阪支店 支店長 佐藤 泰臣

大阪支店：〒541-0058 大阪府大阪市中央区南久宝寺町1-7-5
TEL 06-6263-7711(代表)
本社：〒120-0025 東京都足立区千住東2-23-4
TEL 03-3882-2424(代表)



一般社団法人
日本建築材料協会
JAPAN BUILDING MATERIALS ASSOCIATION

会長 松本 将

本部 〒550-0002 大阪市西区江戸堀1-4-23 撞木橋ビル4F
TEL 06-6443-0345 FAX 06-6443-0348
支部 関東・中部・中国・四国・九州
<https://www.kenzai.or.jp>



一般財団法人
日本建築総合試験所

理事長 上谷 宏二

〒565-0873 吹田市藤白台5-8-1
TEL 06-6872-0391 FAX 06-6872-0784
<https://www.gbrc.or.jp>

学校法人 福田学園

OCT 大阪工業技術専門学校
OHSU 大阪保健医療大学
OCR 大阪リハビリテーション専門学校



FUKUDA GAKUEN

理事長 福田 益和

〒530-0043 大阪市北区天満1-9-27
TEL 06-6352-0093 FAX 06-6352-5995
URL <https://www.fukuda.ac.jp>

夢のレンガを積みあげよう



都窯業株式会社

大阪市北区西天満2-8-1 大江ビル
☎(06)6367-0389 FAX(06)6367-5567
工房 伊賀市西山 伊州窯 伊州観白樓
E-mail: info@miyakogyo.com
HP : <http://www.miyakogyo.com>

アルミニウム建築材料 アルミニウム総合商社



安田株式会社

代表取締役社長 安田 誠

〒542-0081 大阪市中央区南船場1-11-9 長堀安田ビル7F
電話 06(6251)7091 FAX 06(6262)3629

本社 大阪
札幌 北関東 東京 名古屋 大阪 福岡

軽やかさと清楚さと纏うオフィスビル

青山タワービル 一九六九年

文・写真 松隈洋「神奈川大学建築学部教授」

どうしたら、何のけれんみもなく、こんな軽やかさと清楚さを纏うオフィスビルを創り出せるのだろうか。二〇二三年十月中旬、東京の青山通りに面する青山タワービルを初めて見学した際、あらためて吉村順三（一九〇八―一九七九）の建築に対する明晰な思考と探究心に感銘を受けた。しかも、その竣工は、一九六八年の日本で最初の超高層として建ち上がった霞が関ビルディングの翌年なのだ。もちろん、地上三六階、高さ一四七m、延床面積約

十六万五千㎡の規模を誇る霞が関ビルに比べれば、このビルは、地上十六階、高さ約五七m、延床面積約九千㎡で十八分の一ほどの大きさに過ぎず、比較すること自体おかしいかもしれない。けれども、一九六三年の三二m高さ制限の撤廃と容積率制への移行から間もない時期に、都市への公共的な提案を含めて、これほど考え抜かれ、洗練されたオフィスビルが竣工していたことに驚かすにはいられない。そこには、吉村が長年にわたって蓄積



青山通り沿いの正面北側の外観



ピロティから見た西側のテラス

してきた身体感覚を伴う経験知が注ぎ込まれているのではないだろうか。竣工時の掲載誌を見ると、このビルの周囲に高い建物はなく、その姿は、青山通りに新鮮な時代の息吹をもたらしたに違いない。よく知られているように、青山通りが現在のような主要な街路として整備されたのは、一九六四年の東京オリンピックへ向けた都市の大改造によってだった。南側の青山墓地と北側に広がる明治神宮外苑や赤坂御用地に挟まれた閑静な屋敷町であったこの地区は、一九四五年五月二十五日の山の手大空襲により、旧・赤坂区約七〇％が焼失し、多くの死傷者を出していた。この近くに実家のあった作家の小林信彦の回想記によれば、空襲で焼き払われた街が戦後復興で「ようやく一息ついたとき」に、東京オリンピックのための「国家的事業」が始まり、「赤坂御用地なども石垣を崩して、ごつごとりと削られ、赤坂から渋谷まで、道幅が二倍に拡張されたのだ」という（『私の東京地図』ちくま文庫二〇一七年）。そうした環境の中で、吉村が求めたものとは何だったのか。後年のある対談の中で、彼は、長い建築の歴史を振り返りながら、次のように語っている。

「建築の一つの使命といえますか、そういうものには、人類が堅穴住宅をつくるころから、一番少ない労力で、一番少ないマテリアルで、いかに一番楽しいスペースをつくるかという哲学があると思うんですね。それをはずれたものはいつか飽きがくる。だからシャルトルのカテドラルよりトロネの修道院のほうがぼくには面白いというようなこともあるんですね。」（旅のなか―吉村順三）長谷川堯対談集『建築をめぐる回想と思索』新建築社一九七六年）

ここで吉村は、壮麗なゴシック様式のシャルトル大聖堂よりも、近くで採掘される粗く硬い石灰岩だけで造られた簡素なル・トロネ修道院に惹かれると語っている。そこから読み取れるのは、余分なものを削ぎ落とし、必要なものみによって組み立てる道筋を見つけ出すことに、変わらない建築の使命と喜びがあるとの自覚である。そして、青山タワービルにも、それと同じ考え方がそのまま貫かれているのだと思う。すなわち、高層の事務棟は、耐火被覆された十字形の鉄骨柱四本だけで支えられ、階段とエレベーターのコアを柱の外側に追い出すことによって、約四〇〇㎡の広さの基準階は、シンプルなワンルームになっている。また、住宅を数多く手がけてきた経験から周到に割り出されたのだろう。事務室の天井高を二・四mに抑えつつ、高さ一・三mの連続窓が端から端まで眺めの良い景色を水平に切り取り、快適な執務環境を創り上げた。こうして、賃ビル評価指標である賃貸面積の総床面積に対する比率のレントラブル比は、八六％に達するという。そして、外観も、アルミ製のサッシュと外装材で統一されて、そうした構成をそのままシャープに表現している。一方、一階には天井高約三・九mのピロティを設け、そこにガラス張りのエレベーターホールだけを置くことによって、都市の公共的な空間となる広場的な提案まで盛り込んでいく。さらに、事務棟の背後には、コアを挟んで低層の音楽ホール棟を設け、そのホワイエの前面にテラスと池を配して、ピロティをさらに意味ある

ものとしているのだ。しかも、内装の仕上げも、プラスチックボードにペンキ塗りの天井やモルタル塗りの壁など、高価な材料は一つも使われていない。このように、合理性と経済性を徹底して追求した建物なのに、それが貧相に陥ることなく、むしろ高次の連立方程式を解いたかのように、清々しい緊張感を漂わせて、凛とした品格を建物に与えているのである。間違いない、そこにこそ、吉村の求める建築哲学の真髄があるのだと思う。そして、それを支えているのは、次のような建築家として果たすべき社会的な責任に対する使命感だった。

「建築家というのはとにかく建物を建てて、決定的にあるスペースを専有して、そしてそこに建物が出来るのですから、その社会的責任は重大だと思えます。そしてその建物の基本となるものは建物の形、その形をどうするか一定の機能を満足させるような形というもの、これの答えはほとんど無限に近いわけです。三角屋根をつけても円い屋根をつけても、平らな屋根をつけても、屋根という機能を満足させるんですけど、しかしそれは一つの自然と交流して、誰が見ても抵抗の少ない形にするということは、我々建築家の責任であると思います。」（吉村順三『火と水と木の詩』新潮社二〇〇八年）

残念なことに、音の響きの良いホールは事務室に改造されてしまったが、この青山タワービルは、今もなお、都市の建築の在り方を指し示すプロトタイプとしての意味を朗らかに放ち続けている。



【oiya (オイヤ)】

野水瓦産業株式会社
御原特殊瓦株式会社
株式会社タツミ

<https://www.oiya.jp/>

取材：橋本頼幸／建築情報部門委員



淡路瓦イズム



野水瓦産業（株）・御原特殊瓦（株）・（株）タツミの淡路島窯元 3 社のプロジェクトが立ち上がった。土と共生するために。

淡路島出身の著名プロダクトデザイナーである倉本仁氏とコラボレートして『oiya』プロジェクトがスタートした。

コロナ禍で発表会の開催が難しいなか、昨年夏、東京西麻布のカリモク・コモンズ東京で『oiya』の作品発表会を開催。

土は太古からの記憶を積層している。その土に新たな形と役割を与えること。それが『oiya』の目指すところ。

瓦製造技術は約 400 年前に淡路島に伝えられたと言われている。良質な粘土と海上交通、京都・奈良・大阪での瓦需要などの地理的条件が重なり、淡路島は日本三大産地のひとつとして発展してきた。しかし、現代の都市や生活空間には土を感じることは少なくなった。土の素朴さ、力強さ、柔らかさ、土が持つちからを改めて感じてもらいたい。淡路瓦にかかわる人たちはそれを強調する。

屋根材としての瓦の販売量は、最盛期の 1/6 までに激減した。瓦事業にかかわる会社や人々も最盛期の 1/4 まで減っている。瓦が現代建築で使われなくなったことに、後継者不足も追い打ちを掛ける。

現代建築において使われるタイルは国内で製造するところは少ないという。瓦は小ロットから、かつお客さんのニーズに合わせたものが瓦の良さ。野水専務はそう強調する。

『oiya』プロジェクトの三社は、それぞれ特徴を持つ。（株）タツミは鬼瓦や飾り瓦などを作る職人「鬼師（鬼瓦職人）」が一つ一つ手作り製作を得意とする。御原特殊瓦（株）は土を知り尽くし、特殊な瓦の成形・焼成を得意とする。野水瓦産業（株）は手仕事から最新技術を駆使した多種多様な瓦を製造する。この三社が集まったからできたプロジェクトである。

語源は、北欧で『島』を意味する「øy」に由来。出来あがった製品そのものだけでなく、島の産土（うぶすな）を意識し、次の時代に残す新しい「もの」づくり。

『oiya』の製品は、外壁材と家具の約 20 種類。野水専務はこれまでいくつか納入実績ができて、徐々に広がってきている実感を感じている。しかし、家具は一つ一つ手作りで大量生産にもかない。海外進出も視野に入れてホームページは英語と日本語の併記している。アジアのみならず、ヨーロッパ、アメリカにも出荷を考えるが、新型コロナウイルスの影響で輸送に時間を要する。様々な困難にぶつかりながらも、土の良さを前面に出した商品の開発を続ける。瓦のデザイン性の高さを店舗内装などにも使ってもらいたい。

長年培われた伝統と時代に合わせて挑戦する心意気が新しい化学反応を起こすだろう。

■淡路瓦のお問い合わせ先
淡路瓦工業組合
兵庫県南あわじ市湊 134
Tel.0799-38-0570 Fax.0799-37-2030
info@a-kawara.jp
<http://www.a-kawara.jp/>



窓台を内外に入り組ませてできたベンチ等を持ったショーウィンドウのような窓がまちと建築を繋ぐ



構造躯体に取り付けた様々なガジェットで構成されるLDK